

2002 年度第 2 回私立大学図書館協会
東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会義記録

実施日時：2002 年 12 月 6 日（金） 13：30～16：30

場 所：名古屋ガーデンパレス 2F 桜の間

テーマ：「業務のアウトソーシング、図書館のアウトソーシング」

参加者数：19 大学（28 名） 3 業者

【第一部事例報告】

1. 「南山大学のアウトソーシング」

南山大学図書館 情報管理担当課長 関谷 治代

瀬戸キャンパス開設、及びサービス拡大を契機として、閲覧業務を、又、学部改組等による設置関連資料整理のためアウトソーシングの導入に踏み切った。それぞれの業務におけるメリット、デメリットを指摘。今後は、通常業務は全面的に委託し、職員は、新たなサービスを展開することを目指していることが報告された。

2. 「大学図書館の事例報告 - 日本福祉大学付属図書館の現状 - 」

日本福祉大学付属図書館 課長 山本 和子

日本福祉大学付属図書館は株式会社「エヌ・エフ・ユー」開設により、1998 年より図書館を一部委託し始めるという事情があった。非専任はすべてパートナースタッフとして位置付け、業務フローのほとんど（選書、対外的事項以外）を試行錯誤、工夫しながら任せている。いろいろな身分の職員が図書館を運営しているが、その職員にやりがいを実感できるような工夫等をしていかないとうまく運営できないことなどが報告された。

【第二部プレゼンテーションセミナー】

1. 「中国語図書遡及について」

(株) ナイス 取締役本部長 増井 道春、孫 小蕾

遡及業務の流れを中心に、現地会社での入力の様子、方法、現地視察について説明がなされた。

2. 「リコーの考える図書館の効率化と利用者サービスについて」

リコーソリューション事業センター ソリューション企画・開発室 兼 宗進

図書館情報管理システム LIMEDIO を使うことによって図書館業務の効率化を進めたいとの説明が行なわれた。

3. 「大学図書館におけるASPの現状と問題点」

丸善 C&SS 事業部 文教ソリューション営業推進部部長 山本 秀幸

「究極のアウトソーシング」としてのASPについて、基本要素、現状、課題を中心に説明が行なわれた。

以上